

令和元年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和2年3月31日現在)

氏名 長谷川 優

1. 研究テーマ

- 永久歯列期の下顎前歯部叢生に影響を与える因子について
The factors that affect the alignment of the mandibular incisors in the permanent dentition
- ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
Acid resistance of tooth enamel after orthodontic bracket debonding
- 学生の自己評価と教員の学生評価について
A relationship between student's self-evaluation and faculty evaluation
- モンゴル国フブスグル県アルブラグ郡の DMFT と矯正歯科治療必要度について
The relationship between IOTON-DHC and DMFT in Mongolian school-age children in Arbulag soum, Khuvsgul aimag, Mongolia

2. 今年度の研究計画

- 永久歯列期の下顎前歯部叢生に影響を与える因子について
サンプルの抽出・計測を終了した。現在論文原稿作成中である。
- ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
予備実験中である。脱灰液のpH, 浸漬時間を決定するため, 種々の条件を設定した。現在, 予備実験で撮影した Micro-CT 画像を解析中である。
- 学生の自己評価と教員の学生評価について
データの採取と解析が終了し, 論文原稿を作成した。現在投稿中である。
- モンゴル国フブスグル県アルブラグ郡の DMFT と矯正歯科治療必要度について
2019年8月下旬に, モンゴル国フブスグル県アルブラグ郡でデータ採取を行った。現在, モンゴル健康科学大学歯科矯正学講座と連携しつつデータの集計・解析を行っている。

3. 対外的活動 (学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

日本歯科大学新潟生命歯学部(第1学年 ヒトの一生, 第3学年 歯科矯正学, 第6学年 歯科矯正学)

2) 学会活動（査読, 理事, 評議員など）

- ・ 甲北信越矯正歯科学会雑誌編集委員会 委員長
- ・ 日本歯科審美学会編集委員会 幹事
- ・ European Journal of Dental Education 査読委員
- ・ Orthodontic Waves 査読委員

3) 公的な委員会等

記載事項なし

4. 研究業績（別紙に分類して記載）

A 著書

記載事項なし

B 原著

1. Sho Goto, Yuh Hasegawa, Yukio Miyagawa, Toshiya Endo: Effects of contact compressive force on bracket bond strength and adhesive thickness. Study using orthodontic resins with different viscosities, ☆© J Orofac Orthop, 81: 79-88, 2020.

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告（臨床・症例等）・紀要

記載事項なし

E 翻訳

記載事項なし

F 学会講演抄録

1. 高橋靖之, 長谷川優, 井口麻美, 藤井一維. 日本歯科大学新潟生命歯学部で早期臨床実習Ⅱを行った第3学年の意識調査, 第38回日本歯科医学教育学会学術大会, 福岡県福岡市, 2019年7月19日.
2. 井口麻美, 長谷川優, 二宮一智, 田中聖至, 両角祐子, 藤井一維. 臨床研修を修了した研修医に対する医療面接の現状に関する検討, 第38回日本歯科医学教育学会学術大会, 福岡県福岡市, 2019年7月19日.

G 特別講演・シンポジウム講演

1. 長谷川優. MTM のすすめ・手持ちのカードをふやしましょう, 平成31年度富山県日本歯科大学校友会学術講演会, 富山県高岡市, 2019年7月21日.
2. Yuh Hasegawa. Tooth morphology, dental arch dimensions, and anterior crowding in Mongolians, Mongolian association of orthodontists 2019 annual congress, Oral presentation as an invited speaker, Ulaanbaatar, Mongolia, 2019年8月24日.